



親子の語らいの時間 ～2017「ホタルにつれられまち歩き」～

6月17日（土）は、おやじの会主催の
「2017年『ホタルにつれられまち歩き』」が行われました。

-
- 18:00～ 受付開始
 - 18:30～ イベント開始 開始のご挨拶、イベント説明等
 - 19:00～ 松ヶ崎イベントパス
(ホタルや夏祭り等イベントに来る度にパーツをもらってBOXにためていくものの説明)
 - 19:15～ まち歩きの際の注意点の説明
 - 19:30～ グループごとに松ヶ崎のまちを歩き出発～ホタル観賞へ
 - 20:00～ グループごとにクイズチャレンジののちホタル観賞、鑑賞後現地で順次解散
-

下鴨警察署北山交番より2名の方が来られて、昼間の交通安全も含めてホタル観賞時の注意点をお話していただきました。腕や足に巻きつけられる反射板等の安全グッズもいただきました。鑑賞地点での警備も最後までしていただきました。

ホタル観賞は、グループごとに時間差で出発します。待ち時間が出るグループには、京都工芸繊維大学の学生さんによるイベントBOXの活用の仕方の説明や、実際にBOXを使って仕掛けを楽しむこともしました。小学校からの道中でのクイズもグループごとについている京都工芸繊維大学の学生さんが出題して、ただ、歩くだけでなく頭も使って楽しみました。



おやじの会メンバーの方が先頭に立って、グループごとに出発。最終地点まで誘導していただきます。

最終地点では、ホタルが飛び交う様子を観ることを期待していましたが、今年は、1匹、2匹のホタルをみつけるにとどまりました。親子で、グループで楽しく夜の松ヶ崎をゆったりと歩くことは、普段はあまりやらないと思います。



楽しいひと時の準備に各方面への連絡や協力要請等おやじの会の方にお世話になりました。

安全に楽しく活動できるように、下鴨警察署の警察官の方、京都工芸繊維大学の学生さん達に大変お世話になりました。

安全に楽しくイベントを終えることができました。ありがとうございました。

子どもたちから地域の方へ ～「お米作り」の学習～ 5年生

総合的な学習の時間、5年生では「未来へ受け継ぐわたしたちの松ヶ崎」として、一人一人がお米を育てようと考えています。お米を育てるという問題を自分たちで調べたり相談したりしながら解決していくのです。しかし、子どもたちは、お米を育てた経験がなく、実際にお米をつくられている方にお話を聞かせていただいたり、見せていただけたら自分たちでもやっていけないのではないかと考えました。



そこで、子どもたちから、中川助嗣さんに教えていただきたいとの声が出てきました。

子どもたちは、5年生になるまでも、菜の花のことや松ヶ崎の昔のことなどを地域の方に教えていただいたり、地域に出での学習をさせていただいたりしています。そして、これらの経験と一緒に地域行事に参加していることで地域の方とのつながりが深くなっています。地域のことについて関心をもつことや、問題解決をしたいという主体的な学習になっているからこそ、地域の方のお名前が出てきて学習につながったと考えます。

中川さんをお願いをしてみると、「いつでも田んぼを見に来てね。」と、快くお引き受けいただきました。そこで、6月14日（水）に田植えをされた

後の田んぼを見せていただきに行きました。

自分たちが、お米の世話をしていくときに気を付けることや田んぼの仕組み、土のこと水のことなど、児童の質問に丁寧に答えてくださいました。

中川さんは、学校にも来られて、学校でも稲を育てることができるよう土づくりもしてくださいました。ペットボトルでもお米が育つということで、児童一人一人が取り組んでいます。9月のお彼岸までは水を切らさないようにすることを教えていただいています。

中川さんの田んぼの様子も見に行きながら、自分のお米も収穫できるように学習を進めていきます。今後ともよろしく願いいたします。

